

新工法の確立を目指す

UBEERiニューアル工業会

UBEERiニューアル工業会(岡崎正毅会長)は、東京都港区の浜崎町東京會館で第8期(2019年度)通常総会を開き、第8期事業計画と収支予算を審議、承認した。また、20年度以降の年会費改訂案も承認した。岡崎会長は「昨年から技術委員会の活動を充実させていこうと取り組んでいる。新たに技術委員を7人増やした。新しい工法の確立など、会員の役に立てるような活動を進めていきたい」とあいさつした。写真。



新製品品普及に尽力

アサヒポンド工業会

アサヒポンド工業会(小林一夫会長)は、東京都中野区の中野サンプラザで第37回定期総会を開き、2018年度の事業報告・決算や19年度事業計画・予算を承認した。また、アサヒポンド工業は、同協会に合せて新製品発表を実施している。小林会長は、「2年前から開



発が進められてきた新製品をようやく世の中に送り出すことができている。良い製品なので世の中に認められていくと総会後の懇親会で語った。写真。

アサホン弾性Gは、外壁仕上げの浮きに注入できる弾性接着剤。エポキシ樹脂の強力な接着力と弾性接着剤の柔らかさを併せ持つ注入剤で、躯体と仕上げ材のひずみ差を吸収し、タイルが割れずはがれないので意匠を損ねず、タイルをはがす必要がないので産業廃棄物の削減が期待できるほか、かぶれの原因物質の含有量が少ないため皮膚に優しい製品となっている。

新会長に佐藤氏

アベックエンジニア防協

アベックエンジニア防協(アベックエンジニアリング災害防止協力会)は、さいたま市のラフレさいたまで2019年度定期総会を開き、19年度事業計画などを決めた。役員人事では、佐藤富雄副会長(サトー工業代表取締役)を新会長に選出した。開会に当たり、アベックエンジニアリングの縣俊明社長は「来年



の東京五輪に向け、都内の建設現場はどこも追い込みがさかかっている。慢性的な人手不足に、昨今の働き方改革が拍車をかけ、迫り来る工期や不安全行動に気が配りながらの日常は、皆さんが日々実感していることと思う。それでもわれわれは、問題点を共有し、解決策を出し合い、一致団結して厳しい現実に向かいながら、労働災害の撲滅を目指さなければならぬ」と訴えた。写真。

佐藤新会長は「働きがいがあり、若者が夢を持って将来を託せる環境の実現を目指していきたい」と表明。来賓として出席した戸田建設の山崎俊博執行役員管理本部執行役員は、アベックエンジニアリングが戸田建設グループ入りして10年経過したことに触れ「上では、資本関係のある会社だけがグループ内ではない。日々一緒に頑張って仕事をしていたら、いよいよ企業とその社員の方々も、戸田建設グループだと思っている」と話した。

新たな市場を開拓

ユアサ炭協本部会

ユアサ炭協本部会と青年やまづみ会会長は、東京都港区のANAインターコンチネンタルホテル東京で合同総会を開いた。ユアサ商事の任人先・販売先から約350社、500人が参加した。総会ではユアサ商事の田村博之社長が2019年3月期業績と、20年3月期の方針・事業計画について説明した。



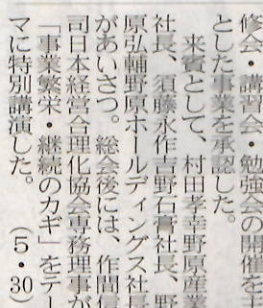
協会長を務めるオクヤマの花木義廣社長は「経済の先行きは米中対立の影響で不透明であり、設備投資を抑える動きもあるが、無人化や半導体などの需要はある。ユアサ商事が築いてきた顧客との信頼関係、グローバルネットワークの助力をいただき、われわれメーカーは新たな市場を開拓したい」とあいさつした。写真。

総会後には、入山栄早大大学院経営管理研究科准教授が「世界の経営学から見る日本企業イノベーション」創出への示唆」をテーマに講演した。

ポスト五輪に備える

野原装栄会

野原産業の協力会社組織である野原装栄会(前芝功会長)は、東京都中央区のベルサール汐留で第46回通常総会を開いた。前芝功会長は「現在は仕事があり明るい状況だが、2020年東京五輪・パラリンピック後は仕事が減少し、競争が激しくなると予想される。いまから協力しあって備えてほしい」と呼び掛けた。写真。



建物の価値を変える
長寿命住宅普及協会は、東京都中野区の中野サンプラザで通常総会を開いた。

懇親会の冒頭、あいさつに立った風間健会長(高砂建設社長)は「当協会は昨年の立ち上げから1年が経過し、65社の会員数となった。さらに会員数が増えいくと思っている。今後は、建物の価値保証の仕組みを变えていける会員同士が集まり、魅力のある団体として協会の地位を高めていきたい」と述べた。写真。

良質なストック形成

REPCO

マンションリフォーム推進協議会(REPCO、大栗育夫会長)は、東京都千代田区のルポール町で第9回定期総会を開き、2019年度事業計画や予算を報告した。また、啓発活動の一環として募集したキャッチフレーズの選考結果を発表し、「あなたのマンションを100年先へ」を最優秀作品に選定した。



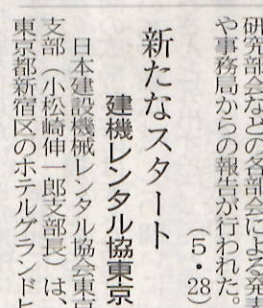
し、より良質なマンションストック形成のため尽力していきたい」とあいさつした。写真。

19年度活動では、キャッチフレーズの水平展開による認知度向上、関連首長や他団体との関係強化、会員企業と業界の人材育成推進、マンションリフォームガイド作成などに取り組む。

創立25年、地道に

リニューアル技術協

NPO法人リニューアル技術開発協会(望月重美会長)は、東京都江東区の本石場文化センターで2019年度通常総会を開き、18年度事業報告や19年度事業計画などについて審議、承認した。



ル市ヶ谷で第50回定期総会を開いた。2019年度の事業計画案や同年度予算を承認した。

小松崎支部長は5月に入って、元号が変わった。平成から令和へ新たなスタートとして、東京支部もきょうが第1日目として、良いスタートを切ろう」とあいさつした。写真。

11日から総合展

東管機商

19年度事業計画では、建設機械レンタル管理士の普及と資格取得促進へのサポート、20年度から導入するレンタル業者登録制度に向けた活動や建設現場の生産性向上への着実な対応など重点的に取り組む。



役員改選では、橋本会長、亀

算報告を承認した。

世界一美しい道路を

東京道路清掃協

東京道路清掃協会(橋本圭史会長)は、東京都新宿区の京王プラザホテルで第84回定期総会を開いた。2018年度の事業報告と決算報告を承認した。



役員改選では、橋本会長、亀

算報告を承認した。

新たなスタート

建機レンタル協東京

日本建設機械レンタル協会東京支部(小松崎伸一郎支部長)は、東京都新宿区のホテルグランドヒ

